

玉手山学園 広報

Tamateyama Gakuen Kouhou
Vol.71
2013.1
New year

巻頭 理事長あいさつ
豊かな心 高い志
～笑顔 あいさつ 優しさを大切に～

Contents

- 巻頭 理事長あいさつ
- 学園 経営理念とビジョン
- 学園トピックス
- ニューフェイス
- 先生をご紹介します

建学の精神「感恩」

人はみな有形無形の数々の恩恵を享受し 今の自分があるこの偉大なはからいに目覚め 深い感動と感謝の念から発する豊かな心と情熱をもって 人の幸せを願い行動するときわれわれは社会に貢献することができる

～「ありがとう」に出会い気づき 感動・感謝の行動から、また新しい「ありがとう」が生まれ出されていく～



理事長あいさつ

豊かな心 高い志 ～笑顔 あいさつ 優しさを

謹賀新年 頑張れ 日本！

学生・生徒・園児、保護者そして教職員のみなさま、新年明けましておめでとうございます。巳年2013年が、みなさまそれぞれの夢に近づく素晴らしい1年になりますようお祈り申し上げます。東日本大震災の被災者の皆さまは2度目の正月を“どこで誰とどんな気持ちで”迎えておられるのでしょうか？“被災前の生活は取り戻せないとしても…また笑って生活できるように（ある被災者の言葉）”、復興はこれからです。まず一人ひとりがしっかりと生きて、大勢で復興を支援（自分でもできること）しましょう。「頑張れ 自分、頑張れ 日本！」

豊かな心と高い志の育成 学園の経営理念とビジョン

学園70周年を機に、玉手山学園運営の基盤となる経営理念とビジョンを一昨年（2011年）秋に改めて策定しました。一層の共有・定着・実践を期し毎年秋に再確認を行っています。ビジョンの第一番目は、豊かな心と高い志の育成です。難しく考える必要はありません。笑顔、あいさつ、優しさを大切に、目を輝かせ夢を語り合うことが基本、これが出発点です。自分にゆとりがない（そんな気分になれない）ときこそ、心がけて笑顔になってみませんか。あきらめしないで夢を追い続けてほしい、あるいは新たな夢を見つけてほしいと思います。何かに夢中になることはとても素晴らしいこと、“どうすれば叶う”と一生懸命考え、工夫を凝らし努力すれば人は成長し心も豊かになります。果たして今の自分はどうか？ 関西福祉科学大学卒業生の言葉、「夢は逃げない、逃げるのは自分」をときどき思い出さねばなりません。夢は叶わないことがむしろ多いかもしれません。それでも夢に近づくために毎日を大切に過ごせば（夢が叶わなくても）、そんな自分が好きになれると思います。

ロンドンオリンピック 選手たちの“ありがとう”

昨夏、ロンドン五輪で日本は史上最高のメダルを獲得しました。それぞれの“あの感動”も記憶に新しいところです。選手たちの願いは自分の持てる力を発揮すること、それには心の持ち様、メンタルの部分大きな鍵を握っています。極限の緊張感のなかで、いかに集中力と平常心を保つかはたいへんなことです。（そのために選手たちは練習あるのみ）プレー終了後、選手たちは結果の如何に関

大切に～



総合教養Ⅱ「こころ」建学の精神「感恩」の授業風景



福科大H20.3卒（福祉栄養学科）マーシャル諸島で働く（JICA）
現地の人に栄養指導

わらず、“ありがとう”と言葉を詰まらせます。
辛いときにも自分（心）を支えてくれた人への感謝の気持ちが一気にあふれ出てくるのでしょ。その姿に私たちも胸が熱くなります。私たちの学園の建学の精神は「感恩」です。多くの“ありがとう”に出会い気づき、次の“ありがとう”を生み出していく豊かな学園生活を送ってほしいと願います。



主体的な学“修”時間の増加、大学教育の質的転換を！ ～日本に大学は過剰ではない？ 自ら学ぶならば～

昨夏（2012年8月）、中央教育審議会から答申が出されました。「日本の若者は勉強時間が少なく受け身の学“修”だ。主体的に考える力が育成されるよう教育の質を変えよ、そのために種々の具体的方策を講じよ！」という趣旨です。勉強はさせられるものではなく“するもの”、学校は行かされるどころではなく“行くところ”のはずです。豊かな文明社会を支えているものは人、人を育てるものは教育、学ぶことです。学生、生徒、園児のみなさんはぜひ、今が学ぶ好機（絶好のとき）であること、学ぶ責任が（幸せな自分になるためにも）あるということ、そして何より学ぶ喜びに気づいて欲しいと思います。ひとりでも多くの若者に、このことに気づいてもらうことがわれわれ教育人の仕事です。なりたい自分になるために自主的、主体的に学“修”してほしいと願います。

昨年11月、ときの文科相が“日本に大学は多すぎる、だから教育の質が下がった”と発言しました。日本の大学団体は、「先進諸外国に比べ、日本の若者の高等教育進学率はまだまだ低い、日本に大学は過剰ではない。」とのスタンスを示しています。主体的に学“修”する（自ら学ぶ）学生が増えれば、高等教育進学率を上げる意義は大いにあると私も思っています。

日本は教育立国です、ひとりでも多くの学生、生徒、園児たちに学ぶ喜びに気づいてもらい、高い志をもち夢に近づき、この学園で学んでよかったと思ってもらいたい。これが私たち教職員の願いであり、教育力向上に今年も誠実に努力してまいります。

建学の精神 「感恩」

人はみな有形無形の数々の恩恵を享受し 今の自分がある
この偉大なはからいに目覚め 深い感動と感謝の念から発する豊かな心と
情熱をもって 人の幸せを願い行動するとき われわれは社会に貢献する
ことができる

～「ありがとう」に出会い気づき 感動 感謝の行動から
また新しい「ありがとう」が生まれていく～

学園の使命

建学の精神「感恩」を体し 人間の絆に目覚め 高い志をもち社会に貢献し
得る人を育成し豊かな社会の構築に寄与する

経営方針

1. 学生生徒園児のもてる力をひきだし 次代を担う有為な人を育成する
2. 教育人としての自覚のもと 自己の能力および人格の向上に努め
その使命責務を誠実に遂行し 人類の未来を拓く「知」の継承 伝達
創造 発展に寄与する
3. 学園の各校園は それぞれの教育理念 目的のもと具体的な教育目標
を掲げ 常に改革の意識をもって 創意工夫を重ね 総力を結集する
4. 継続 改革 発展を支える確かな組織力と健全な財政基盤の確立に努
める

ビジョン

【玉手山学園がめざすもの】

1. 豊かな心 高い志の育成
～笑顔 あいさつ 優しさを大切にし
目を輝かせ夢を語り合う学園～
2. 学園教育力の向上
 - ・教育の質向上(教育力・研究力の更なる向上)
 - ・規模拡大
 - ・4校園体制堅持(大学 短大 高校 幼稚園)
 - ・健全収支
3. 地域貢献 社会に必要とされ愛される学園
4. 教育環境(安心 快適 ECO)充実
5. 学園総合力の向上と社会に誇れる学園ブランドの確立
 - ・各校園の相互尊重 信頼 扶助(学園ファミリー意識)

学園 トピックス

大学・短大 美葉祭

今年度の大学祭（第9回美葉祭）は「感恩の輪～絆でつないだ70年～」をテーマに去る11月10日、11日の2日間にかけて実施され、11日はあいにくの空模様となりましたが、両日ともに参加した学生の熱気溢れるパフォーマンスが元気に展開されました。



次開催は第10回となり節目の開催として更なる盛り上がりが期待されています。次年度もぜひ学生、教職員の皆様のご来場をお待ちしています。

第6回 高校生論文コンクール開催



第6回高校生論文コンクールの応募作品数は、過去最高の8226通となり、264校の高等学校から多くの作品が寄せられました。10月25日（木）に最終審査を実施し、最優秀賞・優秀賞・特別賞・佳作の17作品と高等学校賞が選ばれ、11月10日（土）には特別賞以上の方を対象に表彰式を行いました。今回のテーマ「優しさ」について、入賞者から「見返りを求めない本当の優しさを社会人になるまでに完成させていきたい。」という力強い言葉をいただきました。

オープンキャンパス「顔スタッフ」で社会人基礎力を身につけよう



入試広報部では、年間を通じてオープンキャンパスで活躍する「顔スタッフ」（大学・短大の「顔」）の皆さんを対象に、社会人基礎力を身につける為の研修を実施しています。今年は、「コミュニケーション能力」を始め、3つのテーマで計3回実施しました。

「顔スタッフ」は毎年4月のオリエンテーションで募集を行っています。皆さんのたくさんのご応募をお待ちしています。

短期大学基準協会による第三者評価を終えて



6月末の「自己点検・評価報告書」の提出を経て、10月9日（火）～11日（木）の3日間に亘る実地調査が無事終了しました。ご協力頂きました教職員の皆様に心より御礼申し上げます。

認証評価の第2クール目に当たる今回は、評価基準が大幅に変更された中での受審であり、特に「学習成果」に関する取組みが新たなポイントとなりました。

本学では、様々な課題はありながらもこれらの課題に着実に取組めたことで、「主体的な改革・改善を通じて、自らの教育研究活動の継続的な質保証を実現する」という第三者評価の目的に適った自己点検・評価活動でした。

なお、第三者評価の結果は平成25年3月に公表される予定ですが、今回の自己点検・評価活動で浮き彫りとなった本学の課題を確実に改善・向上へと結びつけるべく、今後も全学を挙げてPDCAサイクルを実践していく所存です。

高等学校にピアノ実習室完成



平成25年度、保育進学コース開設に向け、完全防音のピアノ実習室が、高等学校2号館5

階に完成いたしました。

生徒練習用ヤマハ・クラビノーヴァ20台、指導用グランドピアノ1台を設置、25年度入学生徒を迎えるばかりになっています。

高校体験入学保育講座



保育講座は「ピアノレッスン」「音楽講座」「保育実習室での講座」の三部構成で実施されました。

「おはようございます。」在校生の元気な声で保育実習室での講座が始まりました。在校生の雰囲気を知りたいという中学生の声にこたえ、8名の在校生とともに体験プログラムを実施しました。8つのグループに分かれ、在校生が中学生に説明をしたり、教えたり、一緒に作ったり、という形態で進めました。

体験内容は「松ぼっくりの、クリスマスツリー作り」「人形劇風な、絵本の読み聞かせ」「手話を交えた手遊び」「ゲーム」です。特に8センチのミニクリスマスツリーは、中学生に大変好評でした。

幼児教育実践学会にて我が園の実践を発表

平成24年8月23日（木）東京家政大学 板橋キャンパスにて、財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構「第3回 幼児教育実践学会」にて「発達が気になる子どもの理解と援助」をテーマに岡本秀美、中村斉子、大西英子の3人で発表をしました。実践内容は、本園において4年間に亘り、教師、保護者、そして心理・教



育相談センターの久保心理士との連携により、目を見張るほど成長を遂げた保育の実践についてです。

創立70周年記念の運動会



今年の運動会は学園創立70周年記念の年ということで、子どもたちで、何かできる事が無いかと考えました。

開会式では園児全員で70と勾玉のマークの人文字をトラックいっぱいに表示し、4歳児は親子競技で70歳おめでとうのプレゼントを届け、5歳児は運動会のトリを飾る表現(遊戯)で70の人文字を描きました。創立記念という言葉は子どもにとってイメージしにくいものですが、子どもたちなりに学園の一員としてお祝いの気持ちをもてたのではないかと考えています。

ぜひ、子どもたちに逢いに来て下さい。

★NEW FACE ニューフェイス★



西村節子
(福祉栄養学科)

昨年10月より、福祉栄養学科に勤務させていただいております。
長年にわたって大阪府に勤め、府庁、保健所、健康科学センターなどの現場で管理栄養士の仕事に携わってきました。時代の流れとともに行政の仕事も様変わりしていきましたが、いつもやりがいを感じながらやってきました。この経験を活かし、微力ながら管理栄養士を目指す学生の皆さんを支援していきたいと思っております。

教育の場で働くことは初めてです。皆様のご指導のもと、努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

先生をご紹介します

1. ご専門をお聞かせください。
2. ご専門に進まれるきっかけを教えてください。
3. 趣味はなんですか？
4. 今後の抱負をお聞かせください。



関西福祉科学大学
社会福祉学科 学科長
津田 耕一

1. 障害者福祉が専門で、障害者施設・事業所の利用者の生活支援をどのように行っていけばよいかを研究しています。
2. 正直、たまたま入学した学科に社会福祉専攻があり、それがきっかけで社会福祉に興味を持ち、障害児の遊び相手を定期的に行ったことから「これだ!」と思い、社会福祉に進みました。
3. 特にこれといったものはないのですが、学生時代は男声合唱を少しだけかじりました。また、息子が高校で硬式野球部に入っているので試合の応援に行くのを楽しみにしております。
4. 福祉の現場で働き、福祉教育に興味を抱き、大学の教員になりました。今後は、初心に戻りソーシャルワーカーとしての働きができる何かを模索したいと考えております。



関西女子短期大学
医療秘書学科 学科長
堀 初子

1. 専門は秘書学です。
2. 「秘書は大いなる常識家たれ」と言われます。広い知識と教養、常識を備えていることが必要で、自分を成長させることができると考えました。(初心忘れるべからずですね。)
3. 猫の額より狭い庭の片隅で野菜を作ることです。「なぜ今年もできが悪いのかなあ?」「青虫も生きるために必死やなあ…」などと思いながら、季節の野菜を作っています。
4. ① 学生の為になる話を2年間のうちにたくさん聞かせてあげることです。
② 何事にも興味と関心を持って生きることです。

次回は、高校・幼稚園の先生をご紹介します。